

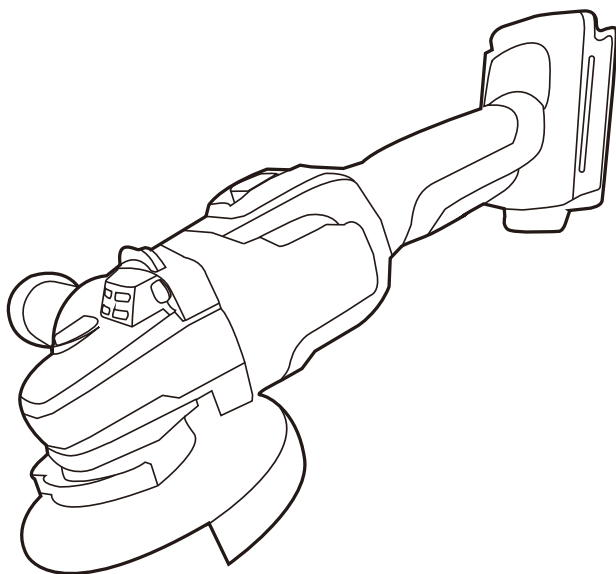
# greenworks®

AGD401(工具本体)

## 取扱説明書


### 24V充電式グラインダー


この度は、24V充電式グラインダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
本書は、お読みなった後も大切に保管してください。



# 1. コードレス工具の安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

## 警告

- **専用の充電器やバッテリーを使用してください。**  
記載されている指定の充電器やバッテリーを使用してください。  
指定外のバッテリーを使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼすおそれがあります。
- **バッテリーの端子間を短絡（ショート）させないでください。**  
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
- **バッテリーの内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**  
発熱・発火・破裂などのおそれがあります。
- **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - ・工具本体やバッテリーは、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。  
感電や発煙のおそれがあります。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - ・可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある場所での使用・充電・保管をしないでください。  
発火や火災のおそれがあります。
- **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。  
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
- **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

## 警告

- 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを工具本体から取り外してください。
  - ・使用しない、または準備・調整・保守・点検・修理する場合。
  - ・付属品や別売品を取り付け、交換する場合。
  - ・その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- 不意な始動は避けてください。  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- 指定の付属品や別売品を使用してください。  
この取扱説明書に記載されている指定の付属品や別売品を使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- バッテリーを火の中に投入しないでください。  
破裂して、有害物質が出るおそれがあります。

## 注意

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 子供を近づけないでください。
  - ・作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - ・安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる場所に保管してください。  
事故の原因になります。
  - ・工具本体やバッテリーの温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
バッテリー劣化の原因になり、発煙・発火のおそれがあります。
- 無理して使用しないでください。
  - ・安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。  
能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙・発火のおそれがあります。

## 注意

- **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
  - ・小形のコードレス工具や別売品は、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- **きちんとした服装で作業してください。**
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- **無理な姿勢で作業しないでください。**
  - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - ・付属品や先端工具の取り付け・取り外しは、取扱説明書に従ってください。
  - ・グリップ部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
  - ・コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの原因になります。
  - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- **損傷した部品がないか点検してください。**
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、または所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他作業に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- **コードレス工具の修理は、専門業者に依頼してください。**
  - ・専門業者以外の方は、工具本体やバッテリーの分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

## 2. 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式グラインダーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

- 実際の作業前に本製品を無負荷で動かし、異常な振動や揺れがないか確認してください。砥石の取り付け不備などで、バランスが大きく崩れる可能性があります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- 使用中は、本製品を確実に保持してください。特に始動時は気を付けてください。
- 本製品を万力などで保持する使い方はしないでください。
- 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- 切削粉は火花となって飛散するため、引火しやすい物や傷つきやすい物は安全な場所に置いてください。
- 作業をするときは、安全メガネ、耳栓、防じんマスクなどの安全保護具を着用してください。
- 使用中は、軍手など巻き込まれるおそれのある手袋を着用しないでください。
- 作業以外の人を作業場所から遠ざけてください。また作業以外の人が作業場所に近づく場合は安全保護具を着用させてください。
- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分に確かめてください。
- 必ずホイルガードを取り付けて、使用してください。
- 使用中に砥石が加工材にはさまったり、引っかかったりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。事故やケガの原因になりますので、次の点に注意してください。
  - ・使用中は本製品から手を離さないようにしっかりと保持してください。
  - ・キックバックが発生したときに備えて作業方向の延長線上に身体を置かないでください。
  - ・コーナーや鋭いエッジなどを加工する時は特に注意してください。
- 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、砥石や本製品に破損、亀裂、変形がないことを確認してください。
- 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から体を避けてください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- バッテリーは確実に取り付けてください。
- 【事業者の方へ】砥石の取り替え・試運転は、法規則で定める特別教育を受けた人が行うようにしてください。

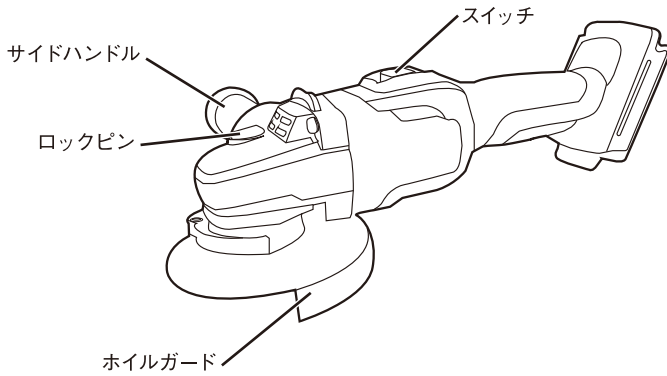
関連法令	労働安全衛生法	第59条
	労働安全衛生規則	第36条
	安全衛生特別教育規定	第2条

## ⚠ 注意

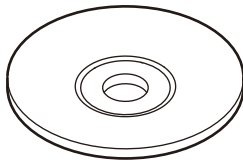
- 必ず試運転を行ってから、本製品を使用してください。
- 本来の使用目的以外で使用しないでください。

## 3. 各部の名称

工具本体:1台



付属品



砥石 1個

## 4. 仕様

### ●工具本体

品番	AGD401	
モーター	直流ブラシレスモーター	
無負荷回転数 (満充電時)	10500min <sup>-1</sup> {回/分}	
砥石寸法	外径	100mm
	穴径	φ15mm
電池電圧	24V	
使用可能バッテリー	BAG708 / BAG709	
寸法	長さ320×幅128×高さ72mm (工具本体のみ)	
質量	約1.58kg (工具本体のみ)	

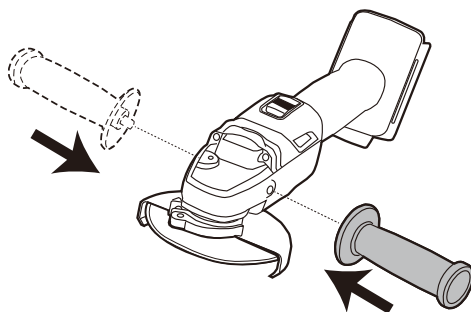
## 5. ホイルガードの取り付け方

- ①ホイルナット、ホイルワッシャを取り外します。
- ②ホイルガードのレバーを開き、ホイルガードの凸部をベアリングボックスの凹部を合わせ、はめ込みます。
- ③ホイルガードの六角ナットを軽めに締め付け、レバーを引いて固定してください。

●取り外す場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

## 6. サイドハンドルの取り付け方

サイドハンドルは、左右側面のどちらにも取り付けることができます。  
作業に合わせて、しっかりと取り付けてください。





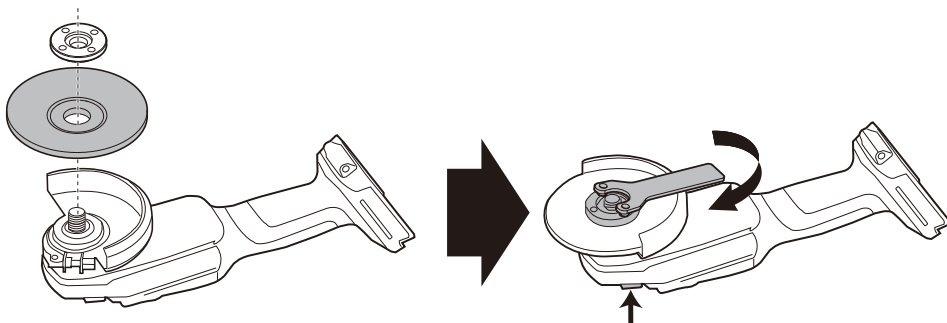
## 7. 砥石の取り付け・取り外し

### ⚠ 警告

- 付属品や砥石の取り付け、取り外しを行うときは、必ずスイッチを切り、バッテリーを取り外した状態で行ってください。

### ⚠ 注意

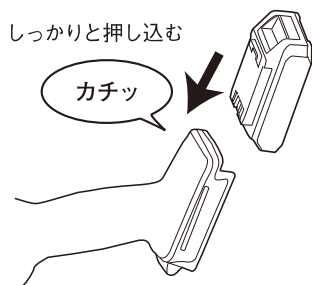
- ホイルナットは、付属のスパナを使用してしっかりと締め付けてください。
  - ① 本製品を上向きにして、ホイルワッシャの凸部の上に砥石の突出部を当てます。
  - ② 砥石の上からホイルナットの凸部を砥石の穴に合わせ、スピンドルに取り付けます。
  - ③ ロックピンを押してスピンドルを固定できたら、ホイルナットを付属のスパナでしっかりと取り付けます。
- 取り外す場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



## 8. バッテリーの取り付け・取り外し

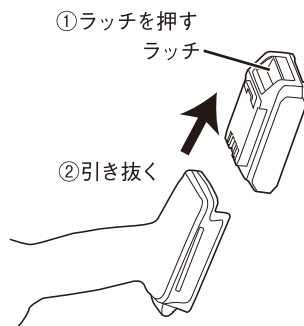
### ●取り付けるとき

バッテリーを取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



### ●取り外すとき

バッテリーを工具体体から取り外すときは、ラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

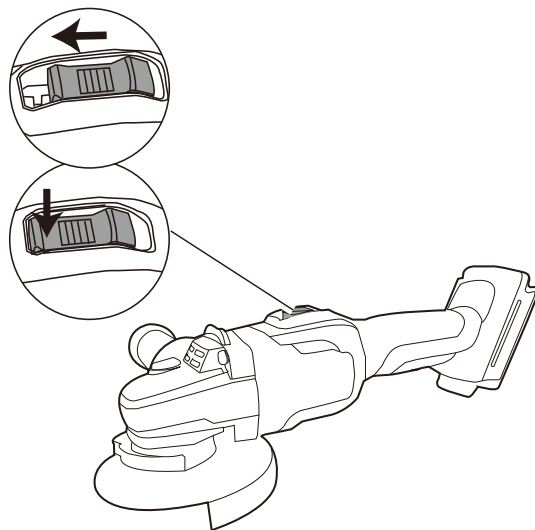


## 9. スイッチについて

矢印の方向にスイッチを押すと、スピンドルが回転します。

スイッチを押した後、さらにスイッチを押し込むとスイッチがロックされ、連続運転ができます。

ロックを解除したいときは、スイッチを反対方向にスライドさせると解除できます。



# 10. キックバックについて

## ●キックバックとは

回転中の先端工具に、急激に大きな負担がかかり、回転数が急激に低下したとき、反発が発生し材料もしくは機体が作業側側に弾き飛ばされる現象です。

## ●キックバックの原因

下記のような状況が考えられます。

- ・ 材料による先端工具の挟み込み
- ・ 曲線切りなど、機体をこじる作業
- ・ 材料に先端工具の刃先を当てた状態での起動
- ・ 劣化した先端工具の使用
- ・ 高硬度の未乾燥材の切断
- ・ 過度な食い込みや押しつけ

## ●キックバックを防止するには

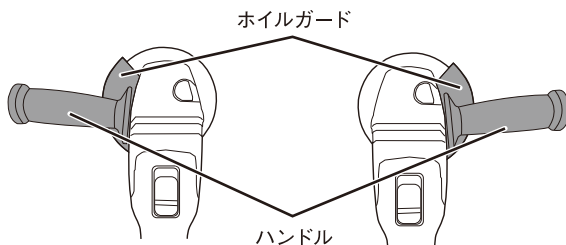
下記のような状況に注意して、作業してください。

- ・ 材料の設置方法に注意し、材料による先端工具の挟み込みを少なくする
- ・ 材料の下に受け台を適切に設置する

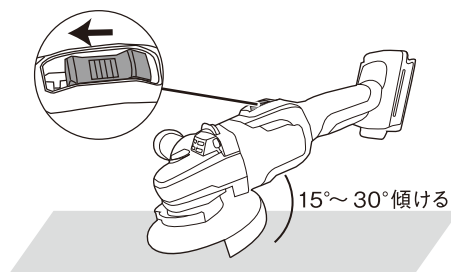
# 11. 研削する

## ⚠ 注意

- 作業中は本製品を確実に保持してください。
- スイッチを入れる前に、砥石が被削材に接触していないことを確認してください。
- スイッチを切った後、砥石の回転が完全に止まっていることを確認してから本製品を置いてください。
- 作業をする前に
  - ・使用前には下記の内容を確認してください。
    - ホイルガードが確実に取り付けられていること
    - 使用する砥石にヒビや割れがないこと
    - ロックピンが元の位置に戻っていること
  - ・使用前には必ず、バッテリーを取り付けて、試運転を行ってください。
  - ・正常に動作するか確認できてから、作業を始めてください。
  - ・ハンドル側に、ホイルガードが向けられていることを確認してください。



- ①スイッチを押して回転数が完全に上昇したことを確認します。
- ②材料に対して、本製品を15°～30°傾けて研削してください。
  - ※砥石が新品の時は後ろに引くようにして、砥石を動かしてください。
  - 砥石が適度に摩耗したら、前後どちらに進めても問題ありません。
- ③作業後、スイッチを切ります。



## 12. 保護機能について

本製品を使用中、下記の状態になるとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり、故障ではありません。

- 本製品およびバッテリーの温度が高温になると、モーターが自動停止します。
  - ・使用を中断して本製品よりバッテリーを取り外し、冷ましてください。
  - ・バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
- バッテリーの容量が少なくなると、モーターが自動停止します。
  - ・本製品からバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
- 本製品が過負荷状態になると、モーターが自動停止します。
  - ・いったんスイッチを放して本製品よりバッテリーを取り外した後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば、再びご使用いただけます。

# 13. 保守・点検について

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを取り外してください。バッテリーを本製品に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

## ●本製品のお手入れ

- ・乾いた布、または薄めた中性洗剤を付けた布で、きれいに拭いてください。
- ・各部位の取り付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。

## ●砥石の交換時期

- ・砥石の外形が、新品の6割程度まで消耗したら、新品と交換してください。

## ●端子部の点検

- ・本製品やバッテリーの端子部に、切りくずやほこりがたまっていないか点検してください。

## ●保管について

- ・作業後は温度が50℃未満の、子供の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

※子供の手の届く場所や、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。

※雨水のかかる屋外や、湿度の多い場所には保管しないでください。

※急激に温度が変化する場所や、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

※引火や爆発のおそれがある、揮発性物質の置いてある場所には保管しないでください。



株式会社 **プロト**

〒675-1201 兵庫県加古川市八幡町宗佐1440



お客様  
相談窓口

**0570-033-634**

平日 AM10:00~PM5:00

IP電話からは **050-3503-6345**